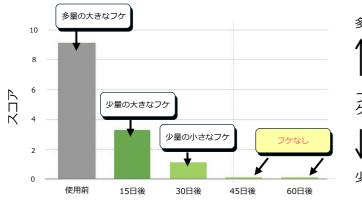


- ■脂漏性皮膚炎の症状を示す40名の被験者、
- ■2% LIPACIDE C8G配合シャンプー:2ヶ月間連用、3日に一度(ヨーロッパでの一般的な洗髪サイクル)

スカルプケア -in vivo-

■落屑 (フケ)、皮脂の分泌、頭皮の赤みを評価

フケ



LIPACIDE C8Gの使用で、 マラセチア菌の増殖抑制により、

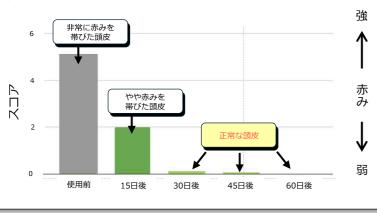
フケが減少。

皮脂



LIPACIDE C8Gの使用で、 <u>5a-レダクターゼ活性抑制</u>により、 皮脂分泌が減少。





LIPACIDE C8Gの使用で、 炎症による刺激が緩和され、 頭皮の赤みも改善。

製品情報

LIPACIDE™ C8G

化粧品表示名称	カプリロイルグリシン
医薬部外品表示名称	N-オクタノイルグリシン
INCI名	Capryloyl Glycine

推奨配合濃度 : 1~2% : 5~7











当資料の記載内容は現時点で入手できた資料、情報、知見等に基づいて作成しておりますが、当該製品の当該条件にのみ適応されるもので、最終製品における評価、危険・有害性等に関していかなる保障をなす ものではありません。なお、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。お客様にて事前に当該用途での安全性、特許等をご確認の上ご使用下さい。また、弊社は当資料に記載した内容 の無断転載・複製等を禁じます。当資料の記載内容は、弊社の都合によって変更する場合がございます。

URL: https://seiwakasei.jp

第3版 2025年10月7日

LIPACIDE™ C8G

肌にも頭皮にも、クリアスキンのためのリポアミノ酸

カプリロイルグリシン















LIPACIDE™ C8G

クリアスキンへの可能性を無限大に



クリアスキン成分: カプリロイルグリシン (C8G)

抗DHT* (ォイリーホルモン) 効果・抗菌効果を持つリポアミノ酸

臨床試験で確認された確かな効果

医薬部外品でも使用可能











*ジヒドロテストステロン

クリアスキンへの道 ―「ホルモン」と「菌」を制御し、肌トラブルから卒業

オイリーホルモン「DHT」の産生を未然に防ぐ

- ・DHTは、脂性肌・頭皮の原因となるホルモン。
- ・DHTの量は、テストステロンと5a-レダクターゼの2つの要素で決まる。

テストステロン



5a-レダクターゼ (酵素)







脂性肌 脂性頭皮

クリアスキン成分C8Gが、5a-レダクターゼの活性を抑制し、DHT産生を制御。 過剰な皮脂分泌を抑制し、脂性肌・頭皮を改善。

肌トラブル菌を撃退









肌荒れの原因菌



Staphylococcus aureus

クリアスキン成分C8Gが、肌トラブルの原因となる日和見菌、悪玉菌の増殖を抑制。 肌ではニキビや肌荒れを改善し、頭皮ではフケの発生を抑制。



スキンケア -in vivo-

皮膚科医による臨床試験で顔での有効性を確認

- ①混合肌または脂性肌で肌トラブルを起こしやすい 22人のボランティア (18~46歳)が、1 日最低2時間、平均5時間マスクを着用。
- ② 1% LIPACIDE C8G を含むエマルジョンを顔に1日2回塗布。
- ③ 炎症性 /非炎症性の肌トラブル、肌荒れ、毛穴について14日および 28日後に臨床スコアを付け、試験前と比較。

被験者の外観写真







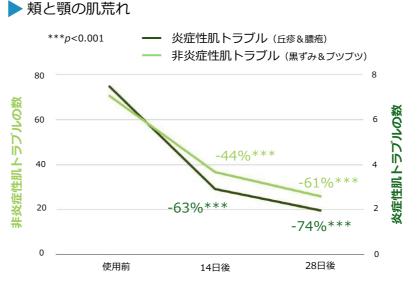
▶ 被験者のアンケート (28日後)

86% テカリが 抑えられた

86% 毛穴が 引き締まった

82% 肌が**清潔** に感じる

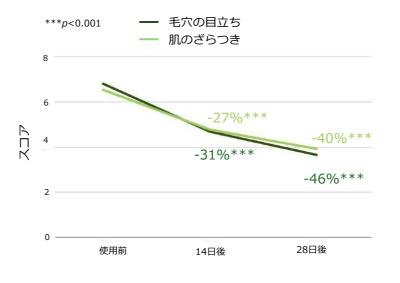
試験開始前



LIPACIDE C8Gの使用で、 各種肌トラブル

が改善。

▶ 顔全体の毛穴とざらつき



LIPACIDE C8Gの使用で、

毛穴の目立ちと肌のざらつき

が改善。



- ■毛穴の目立ち (スコア:0~9)
- =毛穴が引き締まり、ほとんど目立たず、滑らかな外観。
- =毛穴が非常に開き、非常に目立つ、肌荒れした外観。
- ■肌のざらつき (スコア:0~9)
- =ざらつきがなく、薄く、非常に滑らかなキメ。 =ざらつきが非常にひどく、キメが不規則。